

# 「小樽市ふるさとまちづくり協働事業」 事業報告書

1 / 2

<b>団 体 名</b>	SORAN HEART FESTIVAL 実行委員会			
<b>事 業 名</b>	SORAN HEART FESTIVAL			
<b>実 施 期 間</b>	令和 7 年 9 月 14 日			
<b>事業の目的及び期待する効果</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民や観光客、出演者が会場内や周辺地域にもたらす直接的な経済効果が期待できます。</li> <li>・「小樽=YOSAKOI ソーランの街」という地域作りにおける新たな可能性を創出します。</li> <li>・小樽が「北海道の心臓と呼ばれた街」であることを市内外の人により広く知らしめるきっかけにします。</li> <li>・多くの市民が YOSAKOI ソーランに触れられる環境を作り、市民の健康増進、青少年の健全育成、市民のコミュニティ作りなどに繋げ、街の魅力拡大に貢献します。</li> </ul>			
<b>実 施 額</b>	事業費	833,395 円	助成額	294,700 円
<b>事 業 内 容</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「小樽が再び北海道の心臓と呼ばれる町となる」というコンセプトのもとイベントを開催し、北海道中の YOSAKOI ソーランチームや小樽市内の子ども団体など、計 37 団体に小樽港マリナーにて演舞を披露していただきました。</li> <li>・小樽市内外の飲食店やキッチンカー計 8 店舗に出店していただき、出演者やお客様に美味しい昼食を楽しんでいただきました。</li> <li>・小樽市に籍を持つチーム「小樽商科大学“翔楽舞”」のメンバーのほか、このイベントに協力をしたいと申し出た 2 チームがイベントの進行や運営、警備を行いました。（札幌のチーム「青の心」「桜閃」）</li> <li>・昨年に続き「初めての YOSAKOI ソーラン」という企画を行い、市内小学校へチラシを配布し小学生の児童 11 人が参加。事前に踊りのレクチャーを実施し、当日会場で踊っていただきました。また、昨年の同企画に参加したことをきっかけに、「おたる YOSAKOI ソーラン Jr. 濤-mio-」が誕生し、今年も会場で踊っていただきました。</li> <li>・駐車場や待機場所のご提供、運営費用のご協賛など、多くの地元事業者様のご協力によりイベントを開催することができました。</li> <li>・昨年に続き、ウイングベイ小樽内で、日本遺産登録が実現したことをはじめ、小樽の歴史や YOSAKOI ソーランのことなどをより深く知ることができるスタンプラリー企画を行い、延べ 20 人程度にご参加いただき、抽選で 3 名に小樽の特産品を発送。また、SNS などを通じてフォトコンテストも実施し、入賞者 3 名に賞品を発送。</li> </ul>			

月日	内容	想定事業効果 (参加人数等)	事業効果 (実績)
R7.9.14	第3回SORAN HEART FESTIVAL	出演者数 800 人 観客数 1,200 人	出演者数約 750 人 観客数不明

◎事業評価について

**1. 事業の目的の達成度**

・会場内の出演者、来場者の方にアンケートを行い、42 名の方に回答いただきました。

集計の結果、

- ① 観覧者:出演者=2:3
- ② 小樽在住:それ以外の地域在住=3:7
- ③ 10~20代:30~40代:50代以上=4:4:1

と、幅広い層の方が YOSAKOI ソーランに触れる機会を創出できたことが分かりました。

・会場に隣接するウイングベイ小樽様にヒアリングを行い、イベント当日はイオン小樽店やテナントへの来客数が増加し、築港エリアへの経済効果の波及に繋がったことを確認できました。

・参加された子供たちから、踊りに対して興味が湧いたとの声をいただき、市民の健全育成、健康増進に繋げることができました。

**2. 参加した方々や、周辺の方々の満足度**

・昨年同様多くの方から、札幌に行かないと観ることができない YOSAKOI ソーランを小樽で楽しむことができ満足したという感想をいただきました。

・出場チームの豪華さ、イベント進行のスムーズさなど、観客・出演者ともに満足度の高いイベントとなったという感想をいただきました。

・不満点として、出店された飲食店が少なく感じたということと、休憩時間が短いということ、夜間の照明が暗いということなどがあげられました。

・昨年、一時的な渋滞を発生させてしまいましたが、今回は特に問題なく終わりました。

**3. 今後の事業について**

・参加人数など事業規模を第二回と同様にしつつ、経費は第一回と同程度に抑えることができ、事業の長期継続において課題であったスリム化を達成できました。・来場者や出演者、ご協力いただいた多くの方々から高い評価を頂戴しており、翌年以降も継続できたらと考えています。

・今回いただいた意見をもとに、開催時期や時間、内容など、来年以降の開催について検討してまいります。

・小樽市内のお子様方から、ハート・フェスに限らず今後も踊りの機会を提供して欲しいとの声を頂戴しておりますので検討してまいります。